

子ども食堂を作しましょう

子ども食堂ネットワーク編

「子ども食堂のつくり方講座」より



すでに地域で子ども食堂の活動をしている人たちの連絡会「子ども食堂ネットワーク」には、自分の地域でも子ども食堂を作りたいと考えている方から問い合わせが数多く届いています。そこで、設立と運営のポイントを、連絡会のホームページをもとにご紹介します。

1 子ども食堂には いろいろな形があります

子ども食堂の活動を定義するのは難しいのですが、「子どもが1人でも利用でき、地域の方たちが無料あるいは少額で食事を提供する場所」というのが、現在子ども食堂を運営されている方々に共通した考えです。

そこで、子ども食堂を始める

2 「場所」と 「ネットワーク」が大切

東京・豊島区内で4力所の子ども食堂を運営するNPO法人「豊島子どもWAKUWA KUネットワーク」事務局長の天野敬子さんは、子ども食堂には「場所」と「ネットワーク」が大切と言います。

お寺や教会、あるいは公民館などの公共施設、個人の自宅

大前提として、まずは次の3点をイメージしてみることをおすすめします。

●どの程度の頻度で開くのか

●1回で何人くらいの利用者を想定するのか

●どんな人に来てほしいのか

すでに始まっている子ども食堂を見ると、おおよそ週に1回、あるいは月に1、2回開催するところが多く、1回に20〜30食程度（多いところでは50

食以上）を提供しています。

NPOなどが母体になって開いているところも多いのですが、主婦の方が仲間と一緒に始める例も多く、だれでも開くことができるのが子ども食堂の魅力のひとつです。

子ども食堂を実際に見たことのない方は、一度、地域にある子ども食堂を見学したり、ボランティアとして参加してみると、その雰囲気がかめまします。

や飲食店の休業日など、さまざまな場所で子ども食堂がおこなわれていますが、場所代が高額になると継続することが難しくなります。

なるべく安価（無料だとさらにいいですね）で借りることができる場所。さらに、子どもたちが集まりやすい場所が見つかることが最高ですね。

また、子ども食堂と一緒に

やってくれる仲間がいると心強いと思います。子どもたちと密につながっている方、お米や野菜などの食材を提供してくれる方、調理師や栄養士の資格をもっている方、運営資金をカンパしてくれる方……。こうした地域のさまざまな人たちのネットワークが運営するうえで心強いサポートとなります。



子ども食堂の名付け親、近藤博子さんが主宰する「気まぐれ八百屋だんだん」(東京・大田区)



『食べもの通信』読者の荻原博彦さんが主宰するオーガニックの子ども食堂(長野県飯山市)



飯山の伝統食「笹寿司」の味を子どもに伝えたい

3 相談に行ってみましょう

地域の子どものための事情については、役所・役場で「子ども」「福祉」を担当している部署、地域の社会福祉協議会、学校や保育園・幼稚園の関係者、民生委員・主任児童委員さん、児童館や学童クラブのスタッフ……、そのほか子どもに関わるあらゆる人に相談してみてもいいでしょうか。

全国には、子ども食堂の活動を行政が支援している自治

4 子どもたちの安全・安心のために

子ども食堂を始めるには、特別な資格もいりませんし、必ず必要な届け出もありません。しかし、子どもたちに「食べもの」を提供するので、その安全・安心には細心の注意が必要です。

多くの子ども食堂では、事前

子ども食堂を始めるには、特別な資格もいりませんし、必ず必要な届け出もありません。しかし、子どもたちに「食べもの」を提供するので、その安全・安心には細心の注意が必要です。

5 毎回、試行錯誤の連続です

「子ども食堂があることを、どのように子どもたちに伝えるか」。実はこれが、子ども食堂を始めた多くの方が抱える課題でもあります。そこに一律の答えはありません。

子ども食堂を始める方のほとんどは、「子どもの貧困」や「孤食」の問題を解決する力になりたいと思っています。しかし、最初からそうした問題で苦しんでいる子どもたちだけに、来てもらう場所をつくることは、なかなか難しいのが現実

に保健所に相談をして、子ども食堂の規模や頻度、場所に応じた届け出をしています。この点については、自治体によって異なる点も多いので、地域の先輩子ども食堂や保健所と相談したうえで、最善の方法を模索

してください。

また、不測の事態に対処するため、イベント保険やボランティア保険などに加入しておくことも、子どもたちやスタッフの安心のためにおすすめします。

状です。

毎回、試行錯誤を重ねながら、子ども食堂が地域のなかで信頼できる場所になっていくこと。そして、子どもたちに深く関わっている方々の協力を得ながら、子どもたちのための重要な「居場所」となっていたければと思います。

★「子ども食堂ネットワーク」のウェブサイトに、子ども食堂を始めるうえで参考になる具体的な情報が掲載されています。特に、各自治体や社会福祉協議会が作った子ども食堂の手引書は、地域は違ってもとても参考になります。

子ども食堂ネットワーク「作りたい人」向けページ
<http://kodomoshokudou-network.com/start.html>